

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間 /日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～ 95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0 点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の 場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当である と判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P215、216(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H26度実績)÷(過去3年間実績平均値)) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:34.7%(平均値比152% =34.7%÷22.8%) 会議室1ー1:39.6%(平均値比132% =39.6%÷30.0%) 会議室1ー2:29.4%(平均値比128% =29.4%÷23.0%) 会議室2:22.9%(平均値比99% =22.9%÷23.1%) 会議室3:28.7%(平均値比110% =28.7%÷26.0%) 料理教室:12.6%(平均値112% =12.6%÷11.3%) 和室1:18.7%(平均値比97% =18.7%÷19.2%) 和室2:15.0%(平均値比113% =15.0%÷13.3%) 茶室1:7.0%(平均値比73% =7.0%÷9.5%) 茶室2:5.2%(平均値比73% =5.2%÷7.1%) ホール:35.3%(平均値126% =35.3%÷28.1%) 【笠原体育館】 第1競技場 60.5%(平均値比101%=60.5%÷59.9%) 第2競技場 54.6%(平均値比106%=54.6%÷51.5%) 第3競技場 62.5%(平均値比108%=62.5%÷57.9%) 【図書館分館】 ＜1日当たりの利用冊数＞ 平均値比99%= 190冊÷191冊 笠原中央公民館 5点 笠原体育館 5点 笠原分館 4点 ※ 点数の比率を3施設の指定管理料の割合で計算(笠原中央公民館:笠原体 育館:図書館分館＝5:4:1) 総合点 4.9点	5点				
						笠原中央公民館:平均値比(121%)=利用率27.6(%)÷22.8%(上記(2)適用) 笠原体育館:平均値比(106%)=利用率(59.3%)÷56.2%(上記(2)適用) 笠原分館:平均値比(101%)=57,213冊÷56,697冊(上記(2)適用)							
						②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～ 95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0 点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目 の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当である と判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	年次報告書P215、216(利用率・利用人数) ※平均値比●% =(H26度実績)÷(過去3年間実績平均値)) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:8,223人(平均値比142% =8,223人÷5,798人) 会議室1ー1:10,605人(平均値比157% =10,605人÷6,761人) 会議室1ー2:7,871人(平均値比150% =7,871人÷5,251人) 会議室2:3,943人(平均値比100% =3,943人÷3,943人) 会議室3:3,337人(平均値比100% =3,337人÷3,347人) 料理教室:1,845人(平均値93% =1,845人÷1,985人) 和室1:3,828人(平均値比122% =3,828人÷3,130人) 和室2:3,584人(平均値比137% =3,584÷2,625人) 茶室1:1,291人(平均値比119% =1,291人÷1,089人) 茶室2:1,096人(平均値比116% =1,096人÷942人) ホール:19,839人(平均値130% =19,839人÷15,304人) 陶芸工房:762人(平均値70% =762人÷1,086人) 【笠原体育館】 第1競技場:24,103人(平均値比117%=24,103人÷20,669人) 第2競技場:13,891人(平均値比107%=13,891人÷12,930人) 第3競技場:9,725人(平均値比109%=9,725人÷8,896人) 個人利用:6,116人(平均値比131%=6,116人÷4,664人) トレーニング室:21,900人(平均値比89%=21,900人÷24,642人) 【図書館分館】 ＜1日当たりの利用人数＞ 平均値比121%= 52人÷43人 笠原中央公民館 5点 笠原体育館 5点 笠原分館 5点 ※ 点数の比率を3施設の指定管理料の割合で計算(笠原中央公民館:笠原体 育館:図書館分館＝5:4:1) 総合点 5点	5点	
									笠原中央公民館:平均値比(129%)=利用人数(延べ66,224人)÷51,260人(上記(2)適用) 笠原体育館:平均値比(105%)=利用人数(延べ75,735人)÷71,800人(上記(2)適用) 笠原分館:平均値比(122%)=利用人数(延べ15,577人)÷12,788人(上記(2)適用)				

		2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	【笠原体育館】 ※年次報告書P.225、250～252 ＜地域活性化事業＞ 笠原各区対抗ソフトバレーボール大会156人・スポレクかさはら2014 300人・第10回たじみキンボール大会50人、スポーツ体験フェスティバル350人、夏休みキッズスポーツスタジオ1,000人 ＜指導者発掘事業＞(新規) ヒップホップダンス教室26人、ジュニアテニソン教室48人、たじみごっこ・なりきり栄養士12人、いきいき健康ボウリング教室128人 【笠原中央公民館】 ※年次報告書P218～228 ＜公民館文化祭＞文化祭 ステージ部門 参加者 600人 ＜かさばら探検隊＞ 全12回 延べ288人 ＜かさばらこども和太鼓＞かさばら和太鼓クラブISAMI 参加者 延べ 700人 ＜かさばらいこまい祭＞ 参加者 3,000人 【図書館分館】 ※年次報告書P240～243 ＜読書普及活動＞テーマ展示 47回 ＜読書団体支援事業＞おはなしの会 12回	仕様書以上 13点	【笠原体育館】 ・スポレクかさはら2014では、各世代を対象としたスポーツイベントを開催し、スポーツを楽しむ機会の提供として定着してゐる。 ・指導者発掘事業では、利用者ニーズに合わせて工夫を凝らした種目を取り入れていると同時に、様々なスポーツ種目における指導者の発掘につながった。 【笠原中央公民館】 ・「かさばら探検隊」により地域の良さを子ども達と共に探り、地域へ伝えることができた。 ・地域の方に参加してもらって、地域の力を発掘することができた。 【図書館分館】 ・公民館と一体となってカード所有への促進活動を行って、貸出人数と利用冊数が延びている。 笠原中央公民館 13点 笠原体育館 14点 図書館分館 11点 ※ 点数の比率を3施設の指定管理料の割合で計算(笠原中央公民館:笠原体育館:図書館分館＝5:4:1) 総合点 13.2点	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	【笠原体育館】 ※年次報告書P.250～252 ＜健康増進事業＞ トレーニング講習会386人、らくらく筋力アップ体操221人、サポトレの日33人、ほか2事業60人 ＜子どもの体力向上事業＞ 体操の日372人、卓球の日593人、親子乳幼児体操教室8人、親子リトミック体操36人 ＜健康づくりアウトリーチ＞ スイーツサイクリング30人、公民館巡回軽スポーツ事業56人 ＜各種スポーツ教室＞ 基礎から学ぶゴルフ教室150人、スポーツ体験教室(水泳、ダンス、かけっこ、バドミントン)46人、ちびっこくるりん体操教室160人、個性を伸ばすゴルフ教室180人、名古屋グラッバスサッカースクール105人、ボルダリング教室34人、ほか3事業196人 【笠原中央公民館】 ※年次報告書P.218～228参照(事業報告書) ・誰でも参加できる音楽劇「我らのこうもり」参加者 1,200人 ・トップアスリート事業 食べて元気に「食のうながっぱプロジェクト」400人 ・笠原地区アウトリーチ事業「夏休み子ども映画会」(滝呂地区)300人 ほか 【図書館分館】 年次報告書P.240 ～243参照(事業報告書) ・おはなしの会アウトリーチ(全12回) 笠原地域子育て支援センターで、図書ボランティアと絵本の読み聞かせを実施しました。 延べ 211人	期待以上 14点	【笠原体育館】 ・子どもから高齢者に至るまで、それぞれの年代層の特徴をとらえたプログラムサービス(各事業)が工夫されていた。 ・筋力アップ、サポーツ付トレーニング教室など、健康づくり及び体力増進において興味深い内容とした講座を展開し、トレーニング室の有効利用につながった。 ・昨年度に引き続き、特に幼少期の子どもの運動能力向上事業に力をいれ、継続事業として定着し、参加者から好評を得ている。 ・新規事業アウトリーチ事業では、専門施設を利用し、専門講師を派遣して実施するなど、市民の運動ニーズをとらえた事業展開ができた。 【笠原中央公民館】 ・市民参加プロジェクト「誰でも参加できる音楽劇」は総勢58人の市民が参加し、2回の公演を実施。出演者が広報活動を行い主体的な活動を展開した。 ・市立公民館のない地域「滝呂地域」へのアウトリーチ事業として映画上映会を開催した。 【図書館分館】 ・アウトリーチ事業として、子育て支援センターで絵本の読み聞かせ会を開催し、延べ211人の参加者があった。 笠原中央公民館 14点 笠原体育館 14点 図書館分館 11点 ※ 点数の比率を3施設の指定管理料の割合で計算(笠原中央公民館:笠原体育館:図書館分館＝5:4:1) 総合点 13.7点	14点
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・年次報告書P.230、231(維持管理業務) ※清掃業務参照(施設内、トイレ清掃／毎日、ガラス清掃／年2回、床洗浄・ワックス仕上げ／年1回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検			・年次報告書P.230、231(維持管理業務) ※建築設備管理参照(自動扉保守点検／年4回、トレーニング機器保守点検／動作・毎日、総合・年2回)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		③保安・警備			・年次報告書P.230、231(維持管理業務) ※防災・防犯管理参照(人的警備／毎日、機械警備／毎日24時間)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		④小規模修繕			・年次報告書P231、232、254(有償修理の内訳) ※笠原体育館参照 17件、総額 999,037円) ※笠原中央公民館 27件 総額 1,391,201円)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・開館日の毎朝、危険箇所及び安全確認について、職員の見回りにより異常の有無を確認しています。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・市に準拠した方法で管理しています。(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	11点
			②環境への配慮			・事務所及びロビーの照明をLEDに更新。 ・雨水タンクの水を活用し、植栽へ水やり。 ・ごみは分別し、再利用できるものは資源化。 ・可能な限り裏紙や古封筒を利用。 ・事務所内にネットワークを構築し、ペーパーレス化を推進。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			③バリアフリー			・施設に近い駐車スペース3区画を地区事務所来場者兼身障者用駐車場として利用。 ・通用口の段差解消のための鉄板に滑り止めの人工芝を敷設。 ・施設のらせん階段を安全に利用いただけるように、矢印マークを施した。 ・ホール事業実施の際に、車イス席および高齢により足の不自由な方への誘導係を配置 ・多数の来館者が予想される場合、身障者用駐車スペースを増設。車イスを借用。 ・視覚障がい者の対応に特に配慮。(丁寧な説明、点字ブロックへの誘導など)	期待以上 3点	適正に管理されている。	
			④備品管理			毎朝、各室の点検を実施し、机やテーブル、イスやガス器具などの状態の把握。 ・貸出用の備品を良好な状態に保ち、必要に応じて消耗品の補充も行っている。 ・貸出用機器類の事前の動作チェック。細かな使用方法の説明を行い、動作不調によるトラブルを未然に防ぐ。ほか	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			⑤個人情報保護			・多治見市文化振興事業団「個人情報保護方針」に基づき実施しています。 ・パソコンの管理において、個人情報を含むデータはパスワード設定。 ・利用の際に記入していただく様式などにおいて、他の方の個人情報が見えてしまう危険性のある物に関しては見直しを行い、個別の票に変更。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	【笠原体育館】<1件> 第3競技場の壁面収納型ミラーの吊り下げ扉が経年劣化によりワイヤー断裂。 複数の小学生が利用中、怪我等はなかったが、自宅を訪問し保護者へ状況説明及び怪我等の有無について真摯に説明責任を果たした。 【笠原中央公民館】<2件> ・駐車場内の低木にあたり、車のバンパーがへこむ事故→低木の伐採 ・エレベーターが地震停止後動かなくなった→専門業者へ連絡し、すみやかに復旧	事故なし・対応に不備なし 0点	【笠原体育館】 救急車による緊急搬送の必要性を検討しながら症状を観察し、保護者への連絡及び引き渡しと適正な対応がとれた。 【笠原中央公民館】 日頃の点検により、不具合を早期に発見し、適切な対応できている。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入123,898,144円÷支出120,832,634円＝103% 笠原地区文化体育施設事業として全体収支としています。	105%未満～100% 4点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われている。	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	【笠原体育館】 ・スポーツ教室受講後のアンケート調査から、新たな企画としてマンツーマン指導による運動教室を導入。 ・民間施設を利用した指導者派遣型スポーツ教室開催の要望を受け、新たに「ボルダリング教室」「ゴルフ教室」「水泳教室」「ボウリング教室」を実施。 【笠原中央公民館】 ・サークルのメンバーを増やしたい。→公民館掲示板で紹介。広報紙「あしすと」へ掲載するなどに取り組んだ。 ・イベント情報が届いていない。→広報紙「あしすと」、開催するチラシも併せて渡した。、ホームページやFacebookの更新を頻繁に行い、変化のある情報提供を行った。 ・料理教室のオープンが古くなって、火力があがらない。→古くなったオープンを新しいものに更新。ほか 【図書館分館】 ・本や雑誌のリサイクルを行ってほしい→雑誌1回、本2回のリサイクルフェアを実施。 ・場所がわからない→ホームページをご案内したり、電話口での道案内を行った。	期待以上 8点	要望に対し、迅速かつ適切に対応できている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	【笠原体育館】 ・トレーニング室において、トレーニングマシンに座ったままスマートフォンの操作をしているため、次の利用者が使えない(利用者管理に対する苦情)事例において、注意喚起の掲示を行ったほか、職員の駐在及び巡回注意を実施。 ・コインロッカーキーチェーンに対する苦情(素材の摩耗、故障、清潔感)に対し、迅速に耐久性及び清潔感のあるプレスレッチキーホルダーに変更対応。 【笠原中央公民館】 ・駐車場がない→近隣の民間業者の駐車場を借りる。職員が誘導をして可能な限り敷地内に駐車できるよう取り組んだ。 ・公衆電話がなくなったがどうしたらよいか。→公民館の事務所にて1通話10円にて電話を貸出。	苦情なし・適正(普通) 4点	・利用者の利用マナー徹底に対する苦情であるが、職員の口頭による柔らかい注意喚起や、張り紙等でもきちんと注意喚起されている。 ・備品更新等についても現状復旧の考え方「プラス1」をもって、より良い改善策が検討・実施されている。 ・駐車場不足は苦情ではあるが、物理的要因であるため、予め混雑予想をアナウンスするなど可能な限り対応策はとれている。	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	【笠原体育館】 ・専用室内シューズなど用具を持参しなくても、個人利用等ができる貸靴(有料100円)導入により、手ぶら来館を実施。 ・トレーニング室、特定機器への利用集中に対し、利用実態に合ったマシン配置を実現するため、機器ごとに利用統計調査実施計画を立案。 ・市民の利用ニーズを捉え、専門施設が必要な種目におけるアウトリーチ事業を計画し、専門講師を派遣。 【笠原中央公民館】 ・定期的な施設利用者の活動を維持、発展できるようサポーする。 ・生涯学習講座の展開を利用につなげる ・公民館の利用方法を提案していく。 ・快適に利用でき、継続した利用をしていただけるように施設の整備をする。 ・駐車場問題について、今後更に駐車場が混雑し、不足することが予想されるので、交通手段の確保も視野に入れ、関係する機関との間で調整を図る。 ・合併10周年を迎え、地域の中で地域事業を担う方が固定化・高齢化するなかで、地域の中からもっと自分たちの事業として地域事業に関わりたいという方が出始めてきまし	期待以上 13点	【笠原体育館】 ・貸靴対応など、手ぶら来館でのスポーツ実施は、年間80人の利用者があり好評を得ている。 ・市民ニーズを捉えたスポーツの機会と場の提供は、市の施策にマッチしている。 ・トレーニング室の有効利用法や施設整備について計画が明瞭であり、効果に期待するところ 【笠原中央公民館】 ・快適な利用に結びつく施設整備をこれからも期待する。 ・地域のやる気を最大限ひきだして、サポートしていただきたい。 【図書館分館】 ・毎年順調に利用者を増加させている。 ・更なる利用率の向上に向け、新たな取り組みに期待したい。 笠原中央公民館 13点	13点	

				た。このような方々と共に考え、共に創り上げていくことで、新しい考えを取り入れた事業展開を図りたいと考えている。 ・地域の子どものたちの事業を充実させ、そこから生まれたものを地域へ返すことで地域を活性化させるという仕組みをさらに推進させていく。 【図書館分館】 ・主に未就学児を対象として、動きのある「何かやっている図書館」を目指し、公民館とともに事業を展開して、小さいころからの図書館利用を推進したい。 ・保育園が隣接していることから、園児の図書館利用について積極的に働きかける。		笠原体育館 14点 図書館分館 11点 ※ 点数の比率を3施設の指定管理料の割合で計算(笠原中央公民館:笠原体育館:図書館分館＝5:4:1) 総合点 13.2点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施しています。	遅れ・不備なし 減点なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	極めて良好